

もっと清水が好きになる。

しみの風

2023

1

No.591

特集

新春対談

JAしみずとJA大北の未来に向けて

604938750周年

50th
ANNIVERSARY

JAしみずと JA大北の未来に向けて

昨年、合併50周年という大きな節目を迎えた当JA。
今後も地域と共に歩んでいくためにJAに必要なこととは？
姉妹提携を結ぶ長野県JA大北の組合長と対談しました。



JA大北本店前にて撮影

柴田：あけましておめでとうございませぬ。
今日は互いのJAのために、良い意見
交換ができればと思っています。よろし
くお願いします。

— 姉妹提携までのエピソードなど

武井：JA大北は1966(昭和41年)
に発足し、昨年56年目を迎えました。

1996(平成8年)には、旧清水市と
JA大北との交流事業提携が行われ、
その後、行政とだけではなく、清水の皆
さんと広くお付き合いをしていきたい
と考え、物流面でJAしみずの子会社
である(株)JAしみずサービスとの交
流が始まりました。

さらに発展させたいと、2016年に
JA大北創立50周年記念式典に合わせ
て、JAしみずと姉妹提携をしたわけ
です。

柴田：提携する前に、JA大北の二代
前の西山隆芳組合長と東京の会議でお
会いしたことがあります。「うちの方
(長野)は、桜も梅も桃も一緒に咲くんで
す。一度見に来てください」と話してく
れました。その頃からご縁があったの
だと思っています。

姉妹提携の際には、ある方から白
馬村の馬のタイピンをいただきまし
た。僕がうま年だもんだから。とても
うれしいことでも今日も付けています。

大北農業協同組合(愛称:JA大北)

- 【管内】長野県大田市、北安曇郡
- 【設立】1966年3月
- 【役員数】理事15人 / 監事5人
- 【組合員数】12,354人
(正組合員7,485人、准組合員4,869人)
- 【従業員数】329人
- 【特産品】米、リンゴ、白ネギ、アスパラガスなど

※2022年3月末現在

代表理事組合長 / 武井 宏文
(2020年5月27日就任)



— 農産物交流について

武井…JAしみずサービスから8月盆の時期に合わせてトウモロコシを作ってほしいとお願いがありました。清水のお盆は7月と8月、地域の中でも時期が違うことにビックリしましたが、何戸かの農家にお願いで、お盆に合わせて植え付けをしています。

また、冬至(12月22日頃)に無病息災を願ってカボチャを食べる習慣があります。この時期は清水にカボチャはない。これもJA大北の女性部に特別に栽培してもらっています。サツマイモも作っていますが、これも



北安曇郡白馬村

清水で販売してもらっています。**柴田**…JAしみずとしては、ありがたい限りです。

武井…また、青島ミカンは大北管内の多くの組合員が心待ちにしている農産物です。ただ、こちらのミカンの需要は12月からお正月までなんです。本来は1月出荷のものを、前倒しで出荷してもらっています。青島ミカンもおいしいですが、「はるみ」も大好きですね。

柴田…清水の「はるみ」は、食味を優先しているの、出荷時期にこだわっています。清水の人も、アグリフェスタ



白馬村神城地区と北アルプス

しみずで販売されるJA大北のリンゴ「シナノスイート」や、おにぎりを毎年楽しみにしています。このような年が増えると、農産物の交流がもっと盛んになっていくですね。

武井…以前、女性部交流の中で清水の皆さんが入れてくれたお茶がとてもおいしかったのも印象的でした。

柴田…お茶の入れ方にはコツがあります。機会があったらJA大北で「お茶の入れ方教室」を開かせてください。昨年、JAしみずのアンテナショップきらりでは、清水のブランド茶「あわせのお茶まちこ」を使ったボトリングティーを開発しました。こちらもぜひ一度お試しください。

— 地域との連携について

武井…JA大北は、長野県内のJAとも連携を深めています。2015年から3年間、JA松本ハイランドと技術員の人事交流を、今年から隣のJAあづみとは、農機具の修理担当者の交流をしています。いずれも同じくらしい年齢の職員を2人ずつ派遣しています。

柴田…JA間の連携という意味では、長野県はとも進んでいるのではないかと思います。連合会との連携も盛んで、金融や特に電算システムは

清水農業協同組合(愛称:JAしみず)

- 【管内】 静岡県静岡市清水区
- 【設立】 1972年10月1日
- 【役員数】 理事25人 / 監事6人
- 【組合員数】 25,539人
(正組合員6,171人、准組合員19,368人)
- 【従業員数】 392人
- 【特産品】 柑橘類、茶、花卉、イチゴなど

※2022年3月末現在

代表理事組合長 / **柴田 篤郎**
(2011年6月25日就任)



素晴らしい技術を持っています。JAしみずは昨年、時代のスピードに対応できるようにと、IT推進室を立ち上げました。宮農や地域の文化だけでなく、こつこつした部分でも交流ができるの良いなと期待しています。

武井…長野県のJAグループには、(株)長野県協同電算があり、各JAや連合会、全農の職員がそれぞれの組織の意見を持ち寄って出向してきています。JAしみずとも人事交流はできると思っています。

持続可能な開発目標(SDGs)活動による持続的・発展的な交流など――

武井…管内は生産者の7割が米農家。長野では、稲わらが余っていますが、昔は畳に使用していましたが、需要は減りました。今は家畜の建物内に敷いたり、刻んで肥料にしたりする人が多いです。

柴田…JA大北では昨年、もみ殻を圧縮して運搬しやすくするための圧縮機を購入したと聞きました。もみ殻はバイオ炭などにして土壌改良材としての再利用が注目されています。環境保全という意味でも、わらやもみ殻を再利用し、肥料としてうまく活用できれば良い。一緒に商品の開発などができれば、期待しています。



信濃国松川響岳太鼓子供会の演奏

――物・文化・組織の交流について

武井…昔から大北と清水の間では、個人同士の交流の話もいろいろ聞きます。長野は「海なし県」で、海がある近い場所というと糸魚川や清水。清水へ行くと、いつも漁港で魚を買ってくる。海のものに執着があるのかもしれない。

柴田…清水からは、長野ヘスキーに行く人は今でも多い。リンゴのオーナー制度を利用していても多いですね。雪やこの景色に憧れがあるのだと思います。コロナが収まったら、清水から観光で大北へのツアーを組む交流などもできたら良いですね。

武井…JA大北は、長野のJAでも珍



アグリフェスタしみずに出店したJA大北

しく、農業と観光を経営の2本柱にしています。そんな交流ができれば良いですね。また、毎年アグリフェスタしみずは、関係者同とても楽しみにしています。昨年は大北管内の「信濃国松川響岳太鼓子供会」の演奏も実現し、関係者の盛り上がりもさらに大きくなっています。

柴田…あの太鼓の演奏は素晴らしいですね。会場で行ったプレゼントアンケートでも「良かった」と書いている人がとても多かったですよ。

武井…役員の中でも個々に交流を行っている人も増えてきています。さらに発展すると良いですね。

――災害提携について

柴田…昨年9月23日(金)深夜に発生した台風15号の豪雨被害に対し、わずか中2日、26日(月)には、大北の皆さんから水とパン、フリーズドライのお米を届けていただきました。そのスピードの速さと、皆さんのお気持ちには、とても感動しました。感謝に堪えません。2011年の東日本大震災で米がなくなった時も融通していただき、大変助かりました。こういうものは、早ければ早いほどありがたい。

武井…うちも、2014年にJA大北管内で起きた神城断層地震の時、物資などで助けていただき、非常に助かりました。白馬や小谷(あたり)の人たちは特に感謝しています。

今回、本当はもう1日早く行こうと思っていたんです。土曜・日曜にテレビでも大きく放送していて心配していました。「災害にあった人たちが、少しでも安心できるように、手助けになれば」それだけなんですよね。

柴田…JA大北とは姉妹農協として、災害協定も結んでいます。災害の時には、協同の力はとても大きな力を発揮します。

武井組合長は昨年9月のJAしみず合併50周年式典の時に「地域のつながりが大事」と強調していました。

武井…隣近所が親戚以上の付き合いをしていた時代もありましたが、今は希薄化してきています。そんな時代にもかかわらず、神城断層地震の時、地域では死亡者が1人も出ませんでした。これは、隣の人の事情が分かり、がれきの中から助けるなどのサポートができたためです。地域、個々のつながりを大事にしていきたいと災害を乗り越えることもできないし、地域性がなくなっていくという危機感があります。

柴田…「地域のつながり」は、とても大事なことだと私も感じています。

武井…農業も「一緒だ」と思います。JAの使命として、「この地に合う新しい作物を作りましょう」と農家に提案するだけではなかなか進まない。柴田組合長がよく話している「一緒に汗を流しましょう」という言葉にもつながると思いますが、自分たちで見本を見せて、「一緒にやろう」という組合員を育てないと新たな農産物は根付かないと思っんです。

柴田…JA大北では研修圃場を作って、JA職員や技術員、農家も含めて一緒に研究を進めるとお聞きしました。素晴らしい取り組みだと思います。

— 最近の農産物の動向について —

武井…温暖化により以前より寒暖差が増え、甘みが乗ったいいリンゴができる

ようになってきました。また、今までできなかった生食用のブドウも栽培できるようになりました。標高の高いところで栽培する利点を生かし、おいしい果物が提供できると思います。

柴田…もともとデメリットだったものが利点になることもあるんですね。デメリットはチャンスになりえる。その昔、清水は山ばかりで、県西部への出作農業が進みました。そこで険しい傾斜地をゆるやかな畑にすることを覚え、農業土木が得意になったんです。そんな背景から、平たんな畑を作る農地整備事業が始まり、みんなが一緒に



リンゴ園

汗を流して「進めてきました。大変な事業なんです。みんなが喜んでくれるものができた。この事業はまだまだ進めたいなと思っています。

武井…農家が働きやすくなって農道もしっかりできて良い事業だと思います。

柴田…コロナ禍の中ですが、「こんな時代だからできない」はやめよう」をモットーに、新たな挑戦を進めていこうと思っています。

— 最後に —

武井…中部横断道も開通し、清水まで日帰りもできるようになりました。これからも小さなことでもいろいろな交流が深まれば良いなと思います。気を遣うことなく交流ができるところが良いですね。

柴田…私もそう感じています。大事なことです。これからも、協同組合の原



点である「相互扶助」の精神を大切にお互い進んでいきましょつ。

JAしみずは
11月20日、清水マリナーパークで、
3年ぶりに「アグリフェスタしみず」を開き、
約2万1000人が来場しました。

アグリフェスタ しみず



ミカン、茶、トマトなど新鮮な農産物が並び、
手もみ茶の実演、くじ引きやゲームコーナーなどが人気を集めました。

ご協力ありがとう
ございます!



JA大北から産地直送の
「シャインマスカット」が初登場



バルちゃんも
参戦です!!



あしなが育英会が会場で募金活動



女性部両河内支部も大盛況!



ミカン
おいそうだね



合併50周年の感謝を込めて、お楽しみイベントもりだくさん！おいしい清水を召し上がれ。



シズラも来てくれたよ！

庵原支店のやきそばも大好評でした！



清水茶手揉み保存会による実演を行いました



サトイモ詰め放題だよ！



女性部は育てた「紅はるか」をふかし芋で販売しました



静岡市茶つきり娘がお茶をPR



秋冬に新鮮なエダマメがとれるのは、清水ならでは！



興津支店も大盛況



多彩な地元の農産物を紹介！



よく狙ってね



子どもたちに人気だった射のゲーム

キャラグッズなどが当たるくじ引きは大人気でした！



🕒 ステージプログラム

- 8:30 オープニングアクト(太鼓演奏)
- 8:45 オープニングセレモニー
- 9:15 オレンジウェーブショー with パルちゃん
- 9:45 海辺deコンサート
- 10:40 それいけ!アンパンマン ショー①
- 11:30 祝い餅の配布①
- 11:50 「ごちそうカントリー」トークライブ
- 12:20 太鼓演奏(信濃国松川響岳太鼓 子供会)
- 12:55 それいけ!アンパンマン ショー②
- 13:40 閉会式
- 13:50 祝い餅の配布②



オープニングセレモニー

アグリフェスタ しみず



司会: Daiichi-TV
永見佳織アナ

JA合併50周年記念として静岡第一テレビとコラボ。同局も出展して県JAグループの自主制作番組「ごちそうカントリー」のトークライブをはじめ、ゲームやスタンプラリーなどを行いました。



エスパルスダンススクールの子どものパフォーマンスで大盛り上がり!



信濃国松川響岳太鼓子供会による迫力のステージ!



オレンジウェーブの圧巻のステージショー♪



「ごちそうカントリー」トークライブ



清水イルコンパニーと三中の素晴らしい吹奏楽演奏♪



Daiichi-TVビンゴゲームも大好評!

特設テントを設置し、50周年を振り返るパネルなどを展示しました。



おいしい実りの秋、真っ盛り!

地域農業祭

去年は、各支店でも
農業祭を開催しました。



11/5



興津農業祭

11/18



袖師農業祭

11/12



両河内農業祭

11/5



有度農業祭

11/5



高部農業祭

11/12



蒲原農業祭

11/13



由比農業祭



千両研究会 正月縁起物センリョウ出荷

JAしみず千両研究会は12月初旬から、正月飾りの縁起物として需要の高いセンリョウの出荷に追われました。センリョウは、1年でこの時期だけに出荷され、管内では千両研究会の5戸が1.2ヘクタールで栽培。生産者は、長さや実の数、房の数などで7段階に選別し、箱に入れて集出荷センターへ持ち込みました。

清水産は葉の色が濃く花と実のコントラストが美しいのが特徴。集出荷センターの三田穂波担当は「2022年は大きな災害があり、大変な一年だった。縁起物のセンリョウで良い年を迎えてほしい」と話していました。



▲ 梱包の最終チェックをする飯田健太郎係長(左)と三田穂波担当(右)

県落葉果樹振興協会 キウイ品評会 山田さんに栄冠 銅賞に杉山さん

県落葉果樹振興協会は11月29日、静岡市駿河区の県農業会館で、第31回県キウイフルーツ果実品評会審査会を開き、JAしみずの山田文夫さんが県知事賞・県経済連理事長賞・県京浜地区果実流通協議会会長賞、杉山進さんが銅賞に選ばれました。

昨年からの出品品種が「東京ゴールド」になり、今回は4JAから12点出品されました。県農林技術研究所果樹研究センターの松浦英之センター長を審査長とする審査員10人が、形状や色沢、食味などを審査しました。



▲ 審査を行う審査員ら

ユズ生産グループ 「本ゆず」出番6.8トン出荷

JAしみずは11月11日、集出荷センターで「本ゆず」の目ぞろい会を開き、出荷を始めました。本年度は12月下旬まで、京浜市場などに約6.8トンを出荷。新型コロナ禍で低迷していた需要は回復傾向で、3年ぶりに、地元の酒造会社に酒の原料用としても提供しました。

生産者の小澤茂樹さんは「今年の夏は雨量が多く病気が懸念されたが、栽培努力で香り高いユズができた。ユズは皮、果汁、種まで余すことなく使うことができるので、多くの人に味わってほしい」と話していました。



▲ 「本ゆず」の出荷規格を確認する生産者ら

原こども園 庵原支店に手作りカレンダー

原こども園の年長組23人は11月21日、日ごろの食育活動への感謝を伝えようと、庵原支店を訪れました。園児たちは「庵原の農産物のことをたくさん教えてくれてありがとう」と、JA中部営農センターの杉山沙哉佳担当に、似顔絵や野菜のイラストなどを添えたカレンダーを手渡しました。

同園では毎年、プラムやミカンの収穫体験などを行っており、青壮年部庵原支部や同支店が協力しています。坪内和美園長は「食に関する園児たちの素直な気持ちをカレンダーに託しました」と話していました。



▲ 支店を訪れた原こども園の園児たち

援農ボランティア ミカン収穫をJA職員が手伝い

JALしみずは、不足する農家の労働力を支援しようと、11月下旬からJA職員による援農ボランティアを始めました。3年目となる今回も、12月に最盛期を迎える「青島温州」の収穫の手伝いを募集し、職員178人が応募。12月17日までの4日間で、27戸の農家に派遣しました。

参加した金融部営業課の竹村亜弓係長は「農業のやりがいや苦勞などがよく分かった。これからも組合員とのつながりを大切にしていきたい」と話していました。受け入れ農家からは「繁忙期に支援してもらい助かる」との声が多く、今後も組合員が理想とするJAを目指し、取り組んでいきます。



▲ ミカンの収穫ボランティアに勤むJA職員

JA営農窓口で受付 緊急対策支援金 申請をサポート

JALしみずは11月14日～28日まで、肥料高騰による農業経営への影響を緩和するため国・県・静岡市が行う、緊急対策支援金の申請を管内の営農センターや営農拠点で受け付けました。JA営農企画課は、支援対策事業案内書を該当生産者1680人に事前に送付。初日から多くの生産者が訪れ、肥料販売証明書や2021年分確定申告書など、各種申請書類を提出し、手続きしました。

訪れた柑橘生産者は「肥料など農業資材の高騰で収入が厳しくなり悩んでいた。国や県、市の支援はとても助かり、安心して農作業に取り組める」と話していました。



▲ JA中部営農センターの相談会に訪れた生産者

JALしみず×障がい者就労支援施設 農福連携でアロエ出荷

JALしみずと農福連携に取り組んでいる、清水区三保の障がい者就労支援施設「nanairo(ナナイロ)」は11月上旬、アロエ1.2トンを収穫しました。品種は食用と薬品に使う「キダチアロエ」。

施設利用者など関係者約20人が、草丈約30センチに成長したアロエを根元から切り取り、出荷調整後にコンテナに詰め、JA



▲ アロエの調整作業をする利用者

駒越営農拠点から西伊豆町の業者に出荷しました。

JAの池田省一アドバイザーは「アロエは無農薬、最低限の肥料で栽培でき、管理がしやすい。農福連携で、農業の楽しさを広めたい」と話していました。

JALしみず由比支店 詐欺防ぎ清水署から感謝状

JALしみず由比支店は12月8日、特殊詐欺を未然に防いだとして清水警察署から感謝状を受け取りました。

10月27日の昼ごろ、来店した顧客から「息子が会社の大切な書類を紛失してしまい、穴埋めとして100万円が必要」と出金依頼を受けましたが、窓口の山本記子担当と加藤衛次長が説得し、詐欺を未然に防ぎました。

同支店では、昨年8月にも詐欺防止による表彰を受けており、2回目。清水署の八木瑞生署長は「これから年末にかけて犯罪の多い時期に入るが、改めて防犯意識を高めてほしい」と話していました。



▲ 表彰状を受け取る山本担当(左)と八木署長(右)



遠山由美の

レ・シ・ピ

こだわり♪



スマホで動画もチェック!



ブロッコリーパスタ ～アンチョビの塩気が効いたワンパンパスタ～

材料 2人分

- ブロッコリー …………… 150g(房のみ)
- ツナ缶詰(70g程度) …………… 1缶
- ニンニク …………… 1カケ
- アンチョビ …………… 6枚
- 酒 …………… 大さじ1
- ショートパスタ(フジッリ) …… 120g
- 水 …………… 300ml
- 顆粒コンソメの素 …………… 小さじ1
- ミニトマト …………… 10個
- ブロッコリースプラウト(お好みで) …………… 適量
- 粗びき黒コショウ(お好みで) …… 適量

作り方

(1) ブロッコリーの下準備

- ① ブロッコリーは、茎の一番下の乾燥している部分だけを薄く切る。横に出ている茎や葉っぱを取り、サッと洗う。
- ② ポリ袋にさかさまに入れ、房全体が完全に浸かるまで水を入れて空気を抜きながら口を縛る。そのまま5分以上置く。
- ③ 袋を空けて茎を持ち、しっかり振り洗いする。
- ④ 取り出して再び流水でサッと流し、小さめの小房に分ける。

ポイント

ブロッコリーはボウルの水に入れても浮いてしまって、うまく洗えない。ポリ袋に入れて水を注ぎ、口を縛って房よりやや大き目のボウルに入れると、全体がうまく浸かる。

(2) ブロッコリーを炒め蒸しにする

- ① 20cm程度の鍋*にツナ缶の油だけを入れ、みじん切りにしたニンニクを加える。
※後でパスタを加えてゆでるため、鍋の大きさに気を付ける。大きすぎると、パスタが水に浸からなくなってしまう。
- ② 点火し、弱火で温め、香りがたち始めたらアンチョビを加え、アンチョビが溶けるまで加熱する。
- ③ ブロッコリーを加えて中火にし、ブロッコリー全体に油がまわるように炒める。
- ④ ブロッコリーがツヤっとしたら、強火にして酒をふり、鍋のフタをして、30秒蒸す。

(3) 一緒にパスタを加熱する

- ① 30秒たったら、すぐに弱めの中火に火加減を落とす。
- ② パスタを加えてひと混ぜし、ショートパスタに油が絡んだら、水とコンソメを加え混ぜる。
- ③ すべてのショートパスタが水にしっかり浸かるように、ブロッコリーを上

引っ張り出す。

- ④ フタをして、パスタの袋の表示時間分加熱する。

(4) パスタと水分の状態を確認し、仕上げる

- ① 時間がきたらフタをとり、ブロッコリーを手早くつぶす。8割程度潰れたら、再びフタをし、さらに3分加熱する。
- ② フタをとり、トマトを加えて軽く火を入れながら、残った水分を飛ばす。
- ③ 火を止め、ツナを加えて混ぜ、皿に盛る。お好みで粗びき黒コショウをふり、ブロッコリースプラウトを飾る。

すぐにできる!もう1品

ブロッコリーの茎の レンチナムル



残りがちな「茎」もおいしく食べられます。

動画もCheck! ▶



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロNR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



ブロッコリー

国立がん研究センターが、日本人約9万人を対象に行った調査で明らかになった「アブラナ科野菜の摂取量が多いグループは全死亡リスクが有意に低い」という事実。その理由として挙げられたのが、芳香と辛味を持つ硫黄化合物・イソチオシアネートでした。品目により構造が少し違い、ブロッコリーの硫黄化合物はスルフォラファンと呼ばれます。野菜から摂取したいビタミン・ミネラルのほとんどをたっぷり含む点もブロッコリーの魅力です。

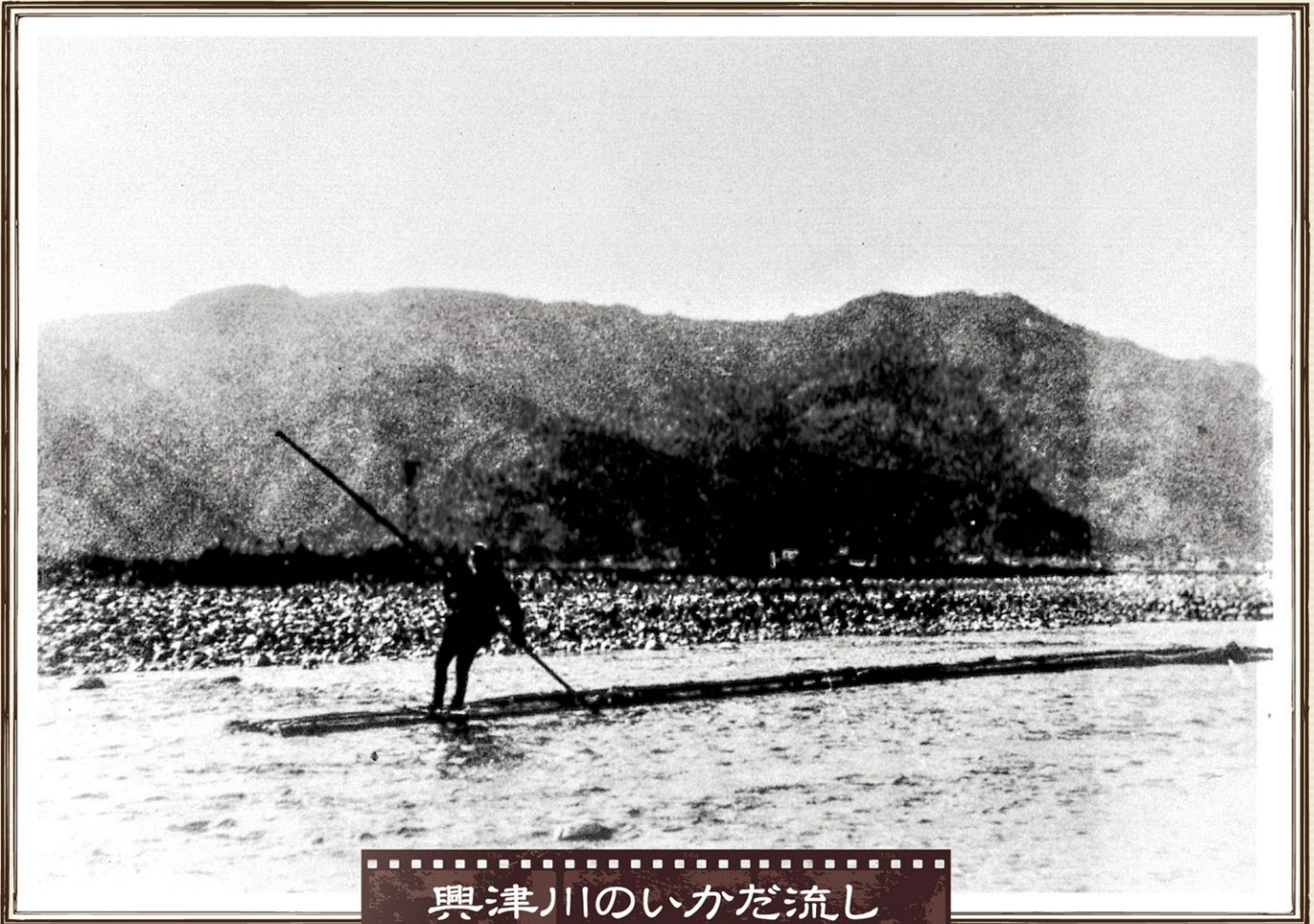
このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

珍しい古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る

[archive-45]



興津川のいかだ流し

明治時代 資料:望月茂氏(清水区興津東町)

写

真は明治時代のものです。少し分かりにくいですが、興津川(八木間町付近)のいかだ流しです。

明治時代の興津川は、豊富な水量を利用して木材のいかだ流しが行われ、流域では製材業や製紙業が盛んでした。特に両河内村和田島(当時)では、清流を利用した紙すきの和田島紙を製造していました。周辺各地にも広がり「駿河半紙」の名称で特産品になっていました。「駿河半紙」をもとに、漂白した改良半紙が明治20年代に製造され、興津地域でも工場生産が始まり、製紙業の生産地として発展しました。

両河内で伐採された木材はいかだを組み、下流に運んだものと推察されます。当時は道路事情も悪く、馬車などよりも興津川を利用した方が多くの材木を運搬できたと思われます。

背景に見えるのは八木間町の山です。当時は同地区でもミカン栽培が始まっていたので、ミカン園もすであつたと思われる。いかだ流しはとてものどかな風景ですが、当時は重要な流通でした。

現在の興津川は、水量が少なくなり河川敷がむき出しになっていますが、当時は水量もずいぶん豊富だったことが分かります。

就活中の大学生・短大生の皆さんへ /

JAが分かる! 1Day 仕事体験

実際の仕事現場の見学や先輩職員との懇談など、
職場の雰囲気や業務の内容を知っていただける機会です。



日時 2月6日(月)・2月10日(金)
2月13日(月)
いずれも 9:30～

申込期限
各開催日の
1週間前まで

会場 JAしみず本店
静岡市清水区庵原町1番地

対象 大学生・短大生(学部・学科は問いません)

募集人数 各回20人程度

内容 オリエンテーション、JAの概要説明、グループ
ワーク、先輩職員との懇談、職場見学

その他 応募者多数の場合、選考をさせていただきます。
選考の結果は、JAよりEメールでお知らせします。

お申し込みは
こちら

●お問い合わせ
JAしみず 総務部総務課
TEL.054-367-3201
(平日 9:00 ~ 16:00)



清水厚生病院 健康管理センター

ドック受診は冬季がお得!

当センターでは、冬季にドックをご予約いただいた方に特別料金をご案内しています。普段よりもご利用いただきやすい価格となっておりますので、ドックを受けたことがない方も、この機会をぜひご活用ください。



ドック冬季特別料金

一日人間ドック
¥39,600 ⇒ **¥30,500**
(通常料金) (冬季料金)

一泊二日ドック
¥67,100 ⇒ **¥55,000**
(通常料金) (冬季料金)

脳ドック
¥40,700 ⇒ **¥33,000**
(通常料金) (冬季料金)
※ 全て税込み

ドック空き状況

一日人間ドック
【2月】1日(水)、8日(水)、15日(水)、21日(火)、22日(水)
【3月】1日(水)、8日(水)、10日(金)、15日(水)

一泊二日ドック
【2月】13日(月)～14日(火)、20日(月)～21日(火)
27日(月)～28日(火)

【3月】13日(月)～14日(火)

脳ドック
1月10日(火)～3月14日(火) ※ 毎週火曜日

※上記は12/13時点のものです。最新の空き状況はお問い合わせください。



清水厚生病院 健康管理センター
静岡市清水区庵原町578-1
TEL : 054-366-3769(直通)
FAX : 054-366-3407

☆ ドック、健康診断は全て予約制となっております。
予約をご希望の方は、電話または直接ご来院ください。
☆ JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございますので、お気軽にお問い合わせください。
☆ 共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。



ホームページ

「ごちそうカントリー」でこん太を紹介



テーマ
キンカン「こん太」

番組 静岡第一テレビ「ごちそうカントリー」
放送日 1月22日(日) 11:40～
出演者 こん太部会長 高橋章夫さん

読者のお便り



結婚60周年を迎えた私たちを親族がお祝いをしてくださいました。山でミカン狩りとパーベキューを楽しみました。

山崎初子さん
(清水区興津清見寺町)

● お便りの応募先

本誌の感想はもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号をお書き添えの上、はがき、メールのいずれかでご応募ください。

〒424-0192 静岡市清水区庵原町1
JALしみず 広報課
ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp




今月の表紙





古郡文男さん(中)
大村武男さん(左)
大塚洋司さん(右)
(清水区駒越西)


エダマメ、ハウレン草、白ネギを栽培する傍ら、新規就農者を受け入れ指導する古郡さん。大村さんは昨年10月から研修をスタート。大塚さんは1年間の研修を終え、11月に農家として独り立ちしたばかりです。


編・集・後・記

 新しいちようせんができたのは50周年という特別な年に仕事のできたから。50周年誌、式典、フェスタ、年間を通して催し多数。常に新しいアイデアを大切に向上心を持ちつつ活動を続けます。そして、新年あけましておめでとうございます。(伊藤)

 お正月は、ほうじ茶に梅干しと昆布を入れた「大福茶」を飲むのがわが家の恒例。番茶を焙じると、部屋中に芳ばしい香りが漂う。梅干しを太陽、昆布を雲に見立て、茶碗の中の初日の出を楽しみながら、一年の無病息災を願った。(杉山さ)

 新春のご挨拶を申し上げます。昨年は暗いニュースもありましたが、新しい年が明るい年でありますように。コタツにミカンの時期ですが、ミカンの「ホロ」は静岡の方言のようで、県外の人に伝わらなかったことに驚き。(見宮)

 コロナ前は毎年、年越し音楽フェスへ行っていた。コロナ後は、自宅を年を越しても楽しみが少ないので、おせちを取り寄せるようになった。フェスで騒ぐのも楽しいが、静かにおせちを食べていると「大人になったなあ」と感じる。(村岡)

 毎年元旦は、初日の出を写真に収めた後、お屠蘇でおせち料理をのんびり味わっている。ウクライナ紛争やコロナ禍などのことを考えると飲んでいない場合ではなく「襟を正さなければ」と反省しつつテレビと会話をしてしまう。(杉山滋)

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

第2回「清水いはらフェス」開催

地元特産の柑橘類をはじめ、農作物や加工品、海の幸などの販売を通じて地域の魅力を発信するイベントです。

日程 1月29日(日) 10:00～15:00
(荒天中止)

会場 清水庵原球場プロムナード・駐車場
(静岡市清水区庵原町3000)



● お問い合わせ
庵原地区道の駅社会実験実行委員会
TEL:054-366-3888

農機農具掲示板

農業をやめたり、作物を変更したりした生産者の皆さんが不用になった農機や農具を、必要な方に有効利用していただくための情報提供の場です。

譲ります!

種別: 運搬機
型式: HONDA HP250 力丸
数量: 1台
価格: 応相談



その他: 完動。ただし、エンジンスタートは手動のみ(リコイルスターターは使用不可)

連絡先: 池田(清水区清開)
TEL:054-334-5489

● お問い合わせ
JALしみず 購買課 TEL:054-363-0334
または各地域営農センター・営農拠点

理事会だより

定例理事会

11月25日(金)

議事

- 事務リスク管理規程の一部改定について
- 固定資産の賃借について
- 理事に対する貸出議案について



秋葉山公園

あきはやまこうえん



秋葉山公園は、長いローラーすべり台がシンボルの公園です。ローラーすべり台がある広場「冒険の砦」は、丸太の階段や吊り橋などアスレチックを楽しみながら丘の上へ登ることができます。登った後は、ローラーすべり台で一気に滑り降りることができ爽快です。

公園中央の高台からは、清水の街並みを一望することができます。空気が澄んでいる真冬の夜には、夜景と星空が見られます。

園内には「ちびっこ広場」が設けられ、鉄棒や砂場など定番遊具の他、幼児用のブランコ、アンパンマンのオブジェなどが設置され、幼児から児童まで楽しめる公園です。

概要

所在地：静岡市清水区八坂
東一丁目364-2
地内外、西久保地内

駐車場：有
トイレ：有

アクセス

しずてつバス 庵原線
「鹿島神社前」
バス停下車、徒歩2分



清水の街が一望できるアスレチック

